

11月2日 豊潤橋放水 緑の中での放水と虹に感激

重味地区にある豊潤橋の放水が行われました。橋の両側に噴き出す水を眺めながらお弁当を楽しむ子どもたちや、記念撮影をする家族連れなどで大にぎわい。見物客は「初めて来たが見ごたえがある」と話していました。



豊潤橋は橋の上を人が通り、橋の下を水が流れる農業用水パイプライン。年に1度、土砂を取り除くために放水しています

11月7日 熊本森林管理署への要望活動 より安全な菊池溪谷に向けて

県と市が連名で、熊本森林管理署へ要望書を提出しました。菊池溪谷は熊本地震で大きな影響を受けましたが、多くの関係者の尽力により平成31年3月末に再開。今後、更なる安全対策を森林管理署にも求めていくものです。



川畑充郎熊本森林管理署長[㊟]に要望書を手渡す江頭実市長(中央)と成富守県北広域本部長[㊟]

11月9日 ハンドボール体験教室 隈府小で実業団選手が指導

女子ハンドボール世界選手権の開催に合わせ、日本リーグのHonda熊本に所属していた大宮大さんらが来校。児童にハンドボールを教えました。基本的な動きを練習した後は、試合を開催。児童たちは大いに楽しんでいました。



お手本を見た後、シュートを体験。ジャンプして投げると、ボールは見事ゴールに飛び込みました

9月30日 人権啓発活動事業 人権擁護委員に法務大臣感謝状

法務大臣から感謝状が贈られました。赤星和範さん(間所)は6年9カ月、山内理至さん(立石)は6年間、人権擁護委員として、人権相談や福祉施設への訪問などに尽力。長年の人権擁護活動の功績が認められ、感謝状が贈られました。



感謝状を持つ赤星和範さん(中央)と山内理至さん(左から2番目)

11月4日 剣道クラブチーム泗水道場 泗水孔子公園でボランティア活動

子どもたちと保護者で、11月3日に行われた打ち上げ花火の清掃活動を実施。孔子公園や国道の歩道などでごみ拾いをしました。泗水道場では、定期的に清掃活動をしており、練習以外でも心と体を鍛えています。



清掃活動を終えた子どもたち。たくさんのごみを拾いました

11月9日 第32回田島一区ふるさと祭り 地域に伝わる伝統芸能を披露

田島菅原神社と田島一区運動公園で開催され、区民など約200人が参加。神楽の奉納や子ども神輿巡行、田島保育園児による神楽の舞などが披露されました。多くの出店もあり、会場はにぎわいを見せていました。



元気な掛け声をあげ、子ども神輿を披露する田島保育園の園児

11月9日～11日 ねんりんピック紀の国わかやま 市在住4人を含む県チームが3位入賞

和歌山県田辺市で開催されたねんりんピック紀の国わかやま2019にて、中山清泰さん(東原)ら4人を含む熊本県チームが3位に入賞しました。中山さんは「高齢者の元気な姿を見て、一人でも多くの方が元気になるれば」と話しました。



川口すみみ子さん(前列左から2番目、豆)、中山さん(前列右端)、浅野昭信さん(後列左端、片角)、古市利幸さん(後列右端、田島)

11月10日 総合防災訓練 地域防災力の向上を目指して

七城総合グラウンドをメイン会場で実施。間所区、菟入区、宮園区の住民や各種関係機関など約300人が参加しました。防災無線やきくち防災・行政ナビを活用した情報伝達訓練、避難訓練や消火・救急法の訓練などが行われました。



左_消火器の使い方を体験 右上_胸骨圧迫の実践訓練 右下_近隣住民の避難訓練

11月15日 熊本地震の復興支援 防災用品「あったか銀紙」を贈呈

熊本地震からの復興に役立ててほしいと、福樹会(杉田貞治会長)が市に防災用品「あったか銀紙」を贈呈しました。同会主催のチャリティーゴルフ大会の利益の一部をもとに寄贈。杉田会長は「有事の際に役立ててほしい」と話しました。



寄贈する杉田会長(大琳寺・写真◎)と福村三男さん(切明・写真中央)。「あったか銀紙」は羽織ることで体温低下を防ぐものです

11月15日 旭志くらだけ友の会 親睦を深めたミニバレー大会

市立旭志体育館で開催され、旭志地域の中学生や保護者、先生など約80人が参加しました。結果は次のとおりです。Aパート優勝:小原A、Bパート優勝:小原B、Cパート優勝:川辺、Dパート優勝:伊坂A、総合優勝(エキシビジョン):伊坂A



保護者と一緒にチームを組んでプレーしたり、先生チームと対戦したりするなど、それぞれに楽しくプレーしていました

11月17日 竜門ダムウォーキング・ふるさとまつり 秋の竜門ダムで自然を満喫

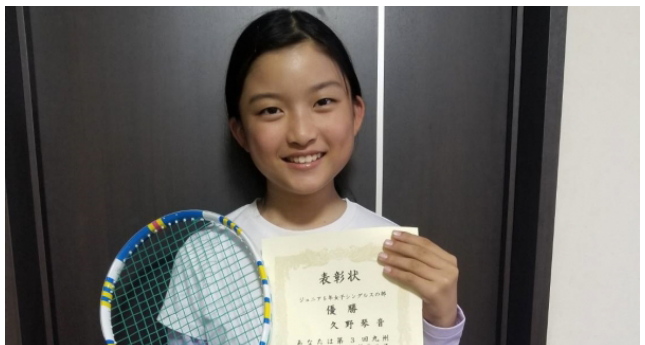
竜門ダムエントランス広場を中心に開催。ウォーキングでは345人の参加者が自然を満喫しました。ふるさとまつりではステージやダムのおなか探検などを開催。セリ市は今年も大盛況で、参加者から盛んに購入金額が叫ばれました。



左_家族で仲良くでゴール 右_セリ市の人気商品である生シイタケ。落札した参加者は満足そうな笑顔を見せていました

11月16日 バウンドテニスジュニア選手権大会 久野琴音さんが女子シングルスで優勝

「第3回九州ブロックバウンドテニスジュニア選手権大会」で、久野琴音さん(菊之池小5年)がジュニア5年女子シングルの部で優勝しました。久野さんは「優勝できてうれしいです。これからも練習を頑張ります」と笑顔を見せました。



ラケットと賞状を持つ久野さん

11月22日 夫婦の手紙コン&ラブベンチコンパ 愛にあふれた作品の数々

「第15回夫婦の手紙・絵手紙コンクール」と「ラブベンチデザインコンペ2019」の表彰式を開催しました。ラブベンチコンペは緒方胤浩さんがグランプリを受賞。夫婦の手紙・絵手紙コンクールは雨宮源吾さんが大賞に選出されました。



賞状を持つ緒方さん(左)。ラブベンチは2月に完成予定で、3月に竣工式を予定しています

11月29日 市旭志ホテルフェスタ実行委員会 芦北町とホテルの情報交換会を開催

芦北町はたらの里山保全連絡協議会が旭志地区を訪れ、市旭志ホテルフェスタ実行委員会とホテルに関する情報交換会を行いました。新たな発見や相互の活動内容を知ることができ、貴重なネットワークの構築につながりました。



芦北町の委員へ環境整備に向けた地域の取り組みを語る稲葉辰馬さん(中央・高柳)

12月3日 戸崎小学校 プログラミングの成果を発表

戸崎小学校で、4～6年の児童8人が人型のロボット「Pepper」を活用したプログラミングの成果を発表しました。来年度から小学校で始まるプログラミング教育に先駆け、戸崎小に配置されているPepperを活用したものです。



戸崎小や校区の歴史、魅力などを写真やクイズ形式で紹介。「難しかったけど最後までできてよかった」と児童たちは笑顔で語りました

11月20日 きくち幼稚園 警察と消防へ感謝状を贈呈

きくち幼稚園の園児50人が、菊池警察署と菊池広域連合北消防署へ感謝状を贈呈しました。勤労感謝の日に合わせて、日ごろの感謝を伝えるために実施。警察署を訪れた26人は「いつもお仕事ありがとう」と大きな声であいさつしました。



菊池警察署の前で署員と一緒に集合写真。残りの園児24人は菊池広域連合北消防署で感謝状を贈呈しました

11月24日 菊池武光公生誕700周年記念菊池ライド 菊池の歴史と自然を満喫!

約70人のライダーが自慢の自転車で市内を駆け巡りました。菊池の自然を楽しんでもらおうと平成28年度から開催しており今年で4回目。エイドステーション(給水所)では旭志牛や牛乳など菊池の特産品を振る舞いました。



途中、雷によりコース短縮となりましたが、参加者からは「また来年も参加したい」との声が多く聞かれました

12月2日 菊池農業高校農業科 育てたヤーコン、給食で使ってね

菊池農業高校の1年生が、自分たちで育てたヤーコンを泗水学校給食センターへ贈呈しました。生徒が学校給食でヤーコンを食べたことを覚えており、育てたヤーコンを給食に使ってほしいと考え、今回の贈呈につながりました。



左から財津香代子栄養士、田崎晶大さん、渡辺琉聖さん、吉野優斗さん(農高農業科1年)、原田景子学校給食管理室長



12月7日 えがお健康スタジアム
菊池の小学生ランナーが活躍

菊池アスリートクラブの小学生ランナーが「第19回RKK学童駅伝大会」で好走し、松田英司代表(大琳寺)と児童13人が市役所に報告しました。同クラブは男子の部で初優勝。女子の部も初の入賞となる5位と、優秀な成績をあげました。



男子の2区で先頭に立った井上幸音さん(後列⑥から2番目)は「中学生になっても陸上を頑張ります」と力強く語りました



12月8日 宝くじ助成金事業
宝くじの助成金で防災倉庫などを整備

(一財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に行うコミュニティ助成事業により、袈裟尾区自主防災会に防災倉庫などが整備されました。袈裟尾区自主防災会の活性化が期待されます。



新しく整備された防災倉庫⑤とテント⑥



12月11日 ボクシングWBOアジアパシフィック・フェザー級
森武蔵選手が2度目の防衛を報告

王者の森武蔵選手(泗水・永区出身)が2度目の防衛を果たし、菊池市役所を訪問しました。タイトルマッチは8日に大阪市で開催。3-0で同級3位の水野拓哉選手に判定勝ちを収め、これでプロ通算11連勝となりました。



泗水中を卒業後、元世界チャンプ薬師寺保栄氏の薬師寺ジム(名古屋市中区)に入門。現在20歳で「いずれ世界戦をやりたい」と話しました



12月10日 パンジー寄せ植え
道路沿いを美しい花で彩ります

国道387号線沿いの花壇を手入れしている高木俊郎さん、恵子さん夫妻(北原)。先日植えたパンジーが通りを行く人々の目を楽しませています。「通りかかる人が喜んでくれたり、声をかけてくれたりするのうれしい」と笑顔を見せました。



「できる限り続けていきたい」と語る俊郎さん、恵子さん



12月12日 菊池女子高校
市花の菊でフラワーアレンジメント

菊池女子高校1・2年生の手で菊を育て、菊人形菊まつりへ鉢物を出品。展示終了後、同校3年生が作品に仕上げ、市役所へ寄贈しました。生徒は「一年の感謝を込めました」と笑顔で話しました。



生徒が作ったフラワーアレンジメント作品は市役所や小学校、保育園などに寄贈されました



12月11日 社会を明るくする運動
作文コンテストで本市生徒が受賞

作文コンテストで、藤村瞭羽さん(旭志中3年)がロアッソ熊本賞に、隈部涼太さん(旭志中3年)が熊本県更生保護協会理事賞を受賞しました。本コンテストは、小中学生に本運動への理解を深めてもらうことを目的に実施されています。



「つらい経験も人の心を動かす力になる」と話す藤村さん⑦と「読んだ人が少しでも社会への意識を変えてくれれば」と話す隈部さん⑧